Energia

報 道 資 料

平成18年3月13日
中国電力株式会社

島根原子力発電所2号機
原子炉内部構造物の点検状況について

島根原子力発電所2号機（沸騰水型，定格電気出力82万キロワット）は，本年2月28日から第13回定期検査を実施しておりますが，炉内目視点検において，異物を確認しました。

その後，原子炉内を詳細に確認した結果，高圧炉心スプレイ系※1の7つのスプレイノズルにおいて，部品の一部（デフレクタ※2）が無くなっていることを確認しました。

なお，当該部品については，7個全ての所在を確認しました。

今後，詳細な原因を調査してまいります。

※1　高圧炉心スプレイ系とは，非常用炉心冷却系（ECCS）の一つであり，冷却材喪失事故時に原子炉へ水を入れる設備です。

※2　デフレクタとは，ノズルの内部に取り付けてあり，炉心へ注入する際に，燃料上部に冷却水をスプレイ状に散水するための部品です。高圧炉心スプレイ系スプレイノズルは，104個あり，そのうち54個にデフレクタが付けられています。

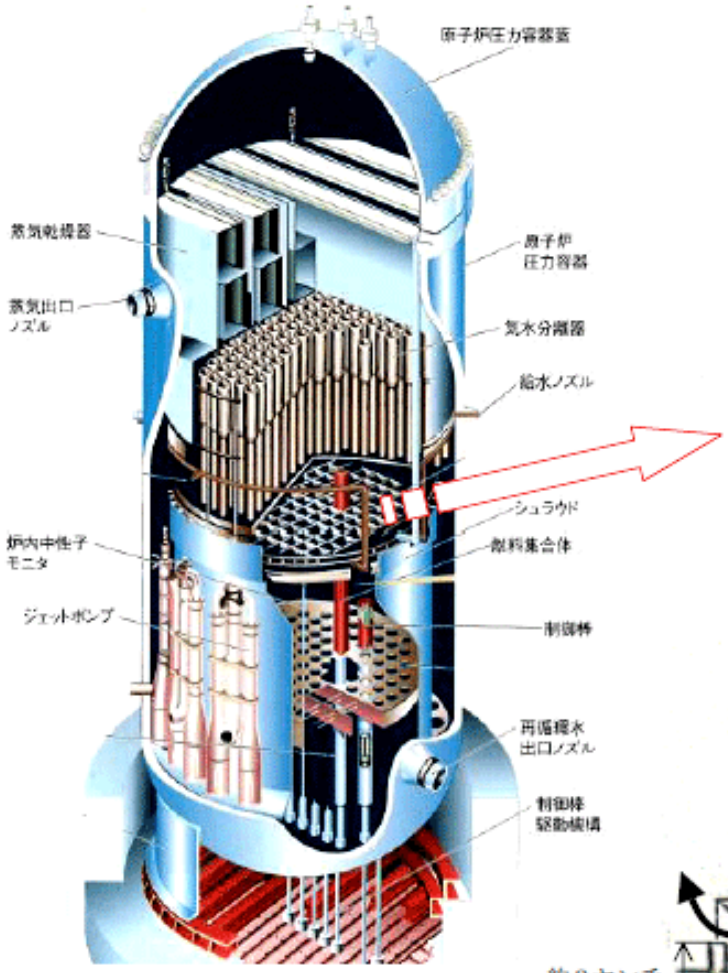
以上

添付
島根2号機　高圧炉心スプレイ系スプレイノズル部品概要図

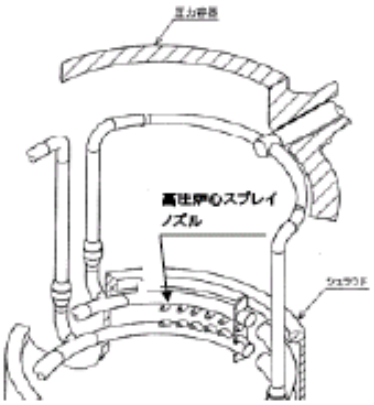
関連リンク

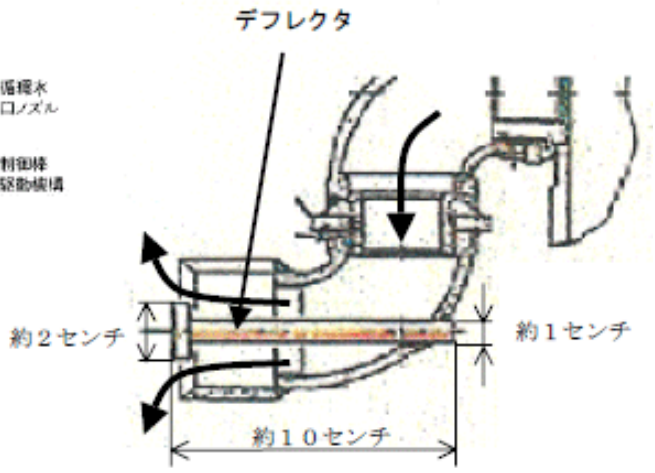
- 島根原子力発電所2号機 第13回定期検査の状況
- 原子力発電（環境@エネルギー）

添付



原子炉圧力容器外観





スプレイノズル拡大図

材質：ステンレス鋼
（SUS316L）

島根2号機　高圧炉心スプレイ系スプレイノズル部品　概要図